

N心身医学(心療内科)専門医養成コース

(以下のN心身医学(心療内科)専門重点コースからなる)

- 85N 心身医学・自律訓練法習得コース
- 86N 心身医学・交流分析療法習得コース
- 87N 心身医学・バイオフィードバック療法習得コース

■ コース概要

● コースの全体像

心身医学コースは、全人的医療の実践及びストレスと身体疾患との関係について調査し臨床に生かすことを目標とする。研修方法は、卒後臨床研修了後一般内科後期研修、心療内科研修、および、大学院医歯学総合研究科での研究期間に分けられる。Aコースは、一般内科後期研修を1年間行った後、大学院に正規入学し、第二内科あるいは基礎教室で2年間研究する。その後、第二内科、関連病院で心療内科の臨床研修を行い、心療内科専門医を取得する。Bコースは、一般内科後期研修を1年間行った後、第二内科医員として心療内科臨床研修を開始。医員に在職しながら社会人大学院特別選抜で入学を行い、第二内科あるいは基礎教室で2年間研究、続いて第二内科と関連病院で専門研修し、専門医資格を取得する。Cコースは、第二内科と関連病院で専門研修を行い、その後専門医資格を取得、この間臨床研修の傍ら臨床研究を行う。



● コースの指導状況

心療内科専門医2名および心身医学認定医(精神科)1名が外来診療にあたっている。週に1回、入院患者のための回診を行っている。外来終了後、検討会を行い、症例検討や文献抄読を行っている。

■ N心身医学(心療内科)専門医養成コースで取得可能な専門医

専門医	N専門重点コース
心身医学専門医 【日本心身医学会】 ▶ 2-99	85N 心身医学・自律訓練法習得コース 86N 心身医学・交流分析療法習得コース 87N 心身医学・バイオフィードバック療法習得コース
心療内科専門医 【日本心療内科学会】 ▶ 2-133	85N 心身医学・自律訓練法習得コース 86N 心身医学・交流分析療法習得コース 87N 心身医学・バイオフィードバック療法習得コース

■ N心身医学(心療内科)専門医養成コースの研修施設

施設名	N専門重点コース		
▶ 3-1 新潟大学医歯学総合病院	85N	86N	87N
▶ 3-17 新潟県立松代病院	85N	86N	87N
▶ 3-24 新潟県立津川病院	85N	86N	87N
▶ 3-44 新潟県厚生連糸魚川総合病院	85N	86N	87N
▶ 3-53 新潟県厚生連三条総合病院	85N	86N	87N
▶ 3-57 新潟県厚生連村上総合病院	85N	86N	87N
▶ 3-67 小千谷総合病院	85N	86N	87N
▶ 3-93 栃木県厚生連下都賀総合病院	85N	86N	87N

●連絡先

新潟大学医学総合病院
腎・高血圧内科、呼吸器内科、感染症内科、膠原病内科、心療内科(第二内科)
総括医長 高田俊範
TEL:025(227)2193 FAX:025(227)0775

E-mail:ttakada@med.niigata-u.ac.jp
HP URL:http://www.med.niigata-u.ac.jp/in2/welcome.html

●研修実施責任者



新潟大学
医学部保健学科教授

村松芳幸



新潟大学
保健管理センター講師

真島一郎

■プログラム

●専門研修の特色

腎・高血圧内科、呼吸器内科、感染症内科、膠原病内科、心療内科(第二内科)で心身医学の研修を行う特徴は、原則として身体疾患を持つ患者さんを研修対象としていることです。心身医学会の定義にある心身症を中心として研修していますが、外来診療では精神科医や心理療法士の協力も得て、精神的な問題の大きな症例についても研修教育を行っています。

具体的な内容について説明します。指導医とともに外来診療を担当しますが、新患は週1~3例で、再来は週10~20例程度を指導医のもと受け持っています。疾患分類では、気管支喘息、過敏性腸症候群、高血圧、神経性食思不振症などの狭義の心身症以外に、感情障害、身体表現性障害や不安障害の症例も紹介され受診しています。入院患者は年間約20例で、摂食障害が多く大部分が全身管理を要しています。治療としては、バイオフィードバック療法、絶

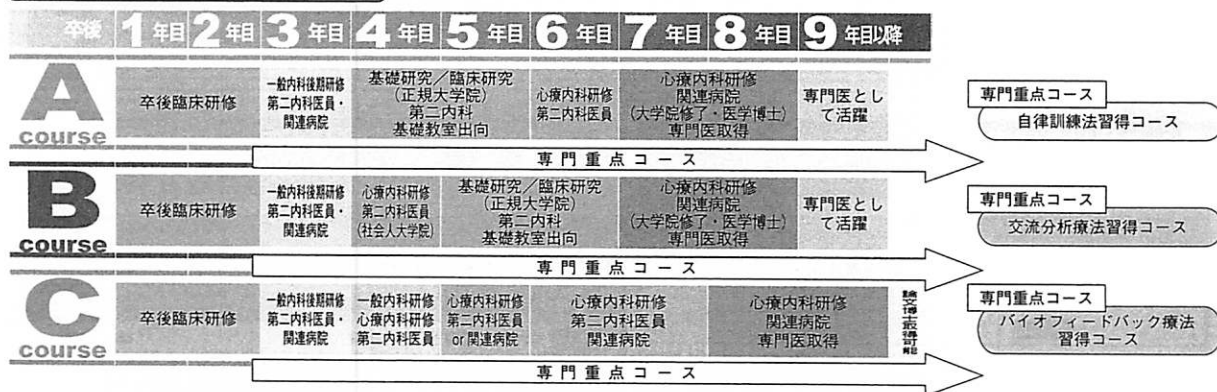
食療法、自律訓練法、交流分析などの専門的な治療も行っています。

なお週に1回入院患者の回診を行っており、外来終了後の検討会で症例検討や文献抄読を行っています。

以上より、心身医学会の認定医や心療内科学会の登録医・専門医として要求されるすべてのケースに対応できるように研修することができます。

研究面においては、気管支喘息、呼吸不全や腎不全を対象とした計量心理学的な研究が行われており、ヒヤリハットやバーンアウトを含めた職場のメンタルヘルス、プライマリ・ケアにおけるうつ病の診断などへも研究調査領域を広めています。さらに呼吸生理では換気中枢に及ぼす自律神経や心理的な因子について、研究を進めています。

N 心身医学(心療内科)専門医養成コース



●専門研修プログラムの概略

心身症の種類はきわめて多彩で患者数は非常に多く、全人的医療が必要です。したがって心身医学専門医の需要はきわめて大きいですが、そのためには内科研修と心療内科医としての専門的研修が必須です。心身医学コースは、原則として一般内科後期研修、心療内科前期・中期・後期研修、および、大学院医学総合研究科心身医学分野での研究期間に分けられます。ただし、原則として当科における内科疾患研修も必須とします。Aコースは、専門研修の初年度に一般内科後期研修を1年間行った後、大学院に正規入学し、当教室(臨床的問題に基づいた研究)あるいは基礎教室(国内留学も含む)で2年間研究(内科認定医はこの間の卒後4~5年目に取得)。その後、当科関連病院で心療内科の臨床研修を行い、内科学会及び各専門学会の専門医資格を取得します。Bコースは、専門研修の初年度に一般内科後期研修を1年間行った後、当科医員等として心療内科臨床研修を開始。医員に在職しながら社会人大学院特別選抜で入学を行うとともに認定内科医を取得。その後、当教室あるいは基礎教室(国内留学も含む)で2年間研究し、続いて当科と関連病院で専門研修を行い専門医資格の取得が可能となります。Cコースは、当科と関連病院で専門研修を行い、その後専門医資格を取得、この間臨床研修の傍ら臨床研究を行います。臨床研究の論文を提出することで論文博士の取得も可能です。どのコースも修了後(概ね卒後10年)、大学で心療内科の指導者・教員を目指すものと、関連病院で心療内科専門医として活躍するものとに分かれます。以上は一般的な研修コースですが、各自の将来構想により、適宜コースの変更は可能です。また海外研究留学希望者は、研究の進捗状況に応じて適宜その選択が可能です(概ね卒後7~10年頃)。

●各種学会認定専門医数

日本心身医学会認定医: 3人
日本内科学会認定総合内科専門医: 1人
日本心療内科学会登録医・専門医: 2人

●各種学会認定指導医数

日本心身医学会指導医: 1人

●各種学会専門医修練施設としての認定

日本心身医学会研修診療施設
日本内科学会認定医制度教育病院



N専門研修案内2011

新潟大学医歯学総合病院
Niigata University Medical & Dental Hospital



な
り
た
い
自
分
に
な
る。

